



■ 山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～インフォメーション～

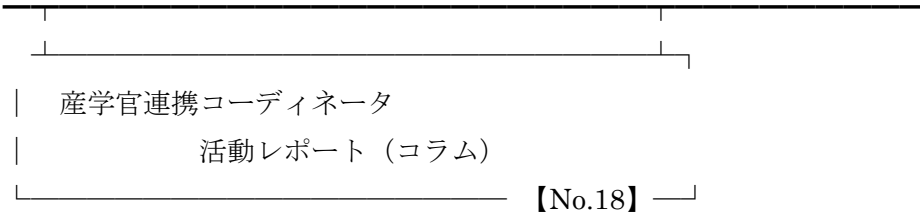


【第 27-6 号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ
最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。



ラジオの英語番組で紹介されたフレーズでこんなのがありました。

You can never cross the ocean until you have the courage to lose
sight of the shore.

(陸地を見失う勇気を持たなければ、海を渡ることは決してできない)

クリストファー・コロンブスの言葉だそうです。冒険家らしいといえば
それまでですが、なんだかビジネスにも通じるような気がしました。

私事ですが、数年前までは企業で新事業企画・開発を担当して、いろい
ろな新規ビジネス・商品を企画提案しました。しかし、テストマーケティ
ングの段階まで行けば良い方で、なかなか本格的な事業にまでは育ちませ
んでした。企画の中身が良くなかったことはもちろんでしょうが、それ以
外にも企業トップの新事業に対する姿勢のようなものが影響したと思いま
す。役員会で新事業の企画をプレゼンすると、そんな小さな売り上げでは
わが社では意味がない、何年後に利益が出るのか、最初は良くてでも継続で
きるのか、などと矢継ぎ早にネガティブな質問が飛んできます。これは、

現業のビジネスがそこそこの黒字で成り立っているのに、わざわざ結果がわからない新事業に乗り出す必要はないという考えによります。

確かに、新規事業などを始めなくても現業ビジネスが永久に続くことが、現経営陣にとって一番楽で良いことは明らかです。しかしそれだけで企業が未来永劫に存続するはずもなく、社会制度の変化、消費者の動向変化、国際競争の激化に敏感に対応して、自らがリスクを負って変わっていかないと企業も従業員も将来が危ういですよね。

陸地を見失う勇気を持って海を渡るということは、意思決定プロセスが複雑な大企業ほど苦手です。逆に規模は小さくてもオーナーや幹部の意識が高く決断が速い企業には、新規事業を始めるチャンスがあります。山梨県内・近郊にもそうして企業はたくさんあると思います。大海への船出に伴うリスクを低減するために、大学の研究成果や知財がお役に立つと信じて、研究者紹介、研究交流事業などの産学官連携活動をますます充実させていきます。多くの企業の皆様のご参加をお待ちしております。

(文責 : 産学連携コーディネータ 服部康弘)



■ 大学情報・技術シーズが紹介されています!!

梨大倶楽部

http://www4.yamanashi.ac.jp/modules/nashidai_club/index.php

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便！

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>

↓↓↓↓↓↓↓↓

この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、

面談設定も可能ですので是非ご一報ください。



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学
社会連携・研究支援機構
社会連携・知財管理センター
新技術情報クラブ事務局

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。